

# 「子どもの安全と防犯まちづくりに関する調査」

～曾谷小学校周辺地区～

## 調査結果報告書

平成21年12月  
明治大学 都市計画研究室

## 目次

1. 本調査について	2
1-1. 本調査の目的	2
1-2. 調査方法	2
1-3. 集計方法	2
2. 調査結果	3
2-1. 回答者の属性	3
2-2. 防犯まちづくり活動の認知度・関心度・評価	5
2-3. 犯罪不安感・子どもの自由あそびに関する態度	10
2-4. 曾谷小学校周辺地区の地域評価	12
2-5. 地域のコミュニケーションの状況	13
2-6. 街の安全に関する、防犯まちづくり委員会構成団体への期待度	16
2-7. 情報媒体の利用状況	17
2-8. 防犯まちづくりに関する自由回答一覧	20
3. おわりに	26

## 1. 本調査について

### 1-1. 本調査の目的

曾谷小学校周辺地区（曾谷2・4・5・7・8丁目）では、自治会・小学校・PTA・山王商店会の代表者と市川警察・市川市の担当者による「曾谷小学校周辺地区防犯まちづくり委員会」を平成18年度に立ち上げ、「曾谷小学校周辺地区防犯まちづくり計画」を策定し、相互に協力し合って、犯罪からの子どもの安全の確保と安心して暮らせるまちづくりに努めてきた。平成21年度現在、計画の策定から3年が経過した現在、地域のニーズに合わせたよりよい防犯まちづくりを目指して、計画や活動の見直しを検討することが望ましいと思われる。そこで、対象地区に住む地域住民の防犯まちづくりに関する関心度や意見、その他情報を収集するためのアンケート調査を実施した。

### 1-2. 調査方法

調査票の配布日：2009年9月4日

調査票の回収締め切り日：2009年9月14日

配布先・配布回収方法：曾谷小学校1・3・5年生の保護者249人（学校を通して配布・回収）、地域住民1000世帯【内訳：第2自治会140世帯、第4自治会250世帯、第5自治会250世帯、第6自治会360世帯】（各戸にポスト投函、郵送回収）

回収率：曾谷小学校50% 地域住民43.2%

調査項目：

- ・回答者の属性
- ・防犯まちづくり活動の認知度・関心度・評価
- ・犯罪不安感・子どもの自由あそびに対する態度
- ・曾谷小学校周辺地区の地域評価
- ・地域のコミュニケーションの状況
- ・非常時における防犯まちづくり委員会構成団体への期待度
- ・情報媒体の利用状況

### 1-3. 集計方法

防犯に対する意識や行動は、家族に小さい子どもがいるか否かによって変化するために、小学校以下の子どもがいる世帯（未就学児含む）と、いない世帯に分けて集計を行った。本報告書では、前者を「保護者」、後者を「地域」と表記した。また、単数回答は（SA）、複数回答は（MA）と表記し、SAの設問に複数回答している場合または空欄は無効回答とした。グラフは保護者・地域の各有効回答者数に対する割合を示した。

また、自治会だよりの発行の有無など自治会によって活動が異なることもあるが、本報告書では全体をまとめて集計を行った。

## 2. 調査結果

### 2-1. 回答者の属性

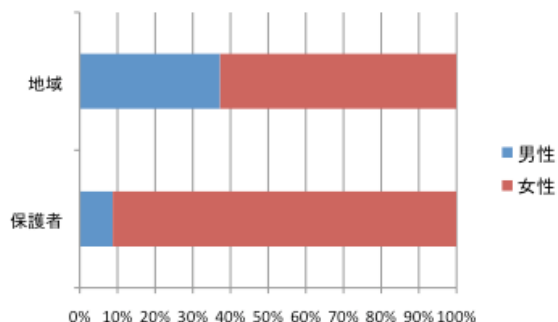


図1 回答者の性別 (SA)

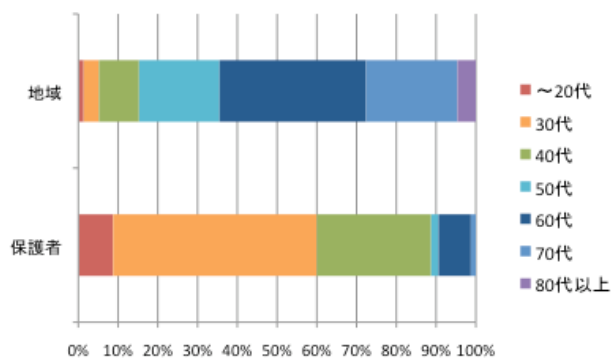


図2 回答者の年齢 (SA)

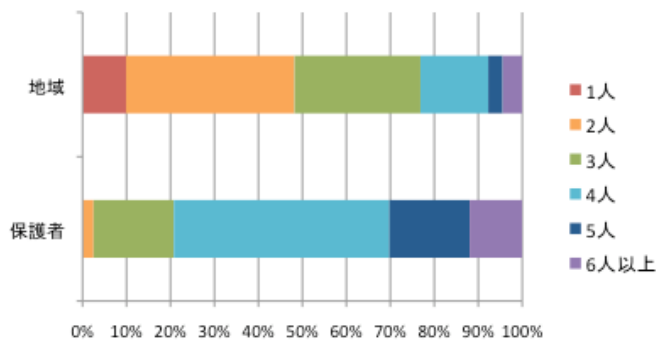


図3 世帯の構成人数 (SA)

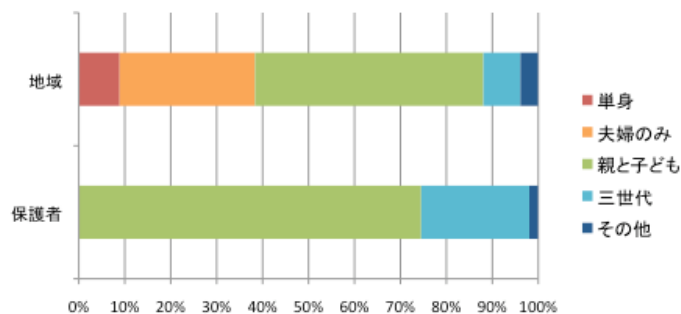


図4 家族構成 (SA)

#### 【性別】

図1より、地域は男性が38%、女性が62%であり、女性の回答者がやや多く、保護者は91%が女性の回答者であった。

#### 【回答者の年齢】

図2より、地域は60代~70代の回答者が約60%を占め、全体的に回答者の年齢は高かった。保護者は30代~40代の回答者が約80%を占めていた。図1・図2の結果より、保護者の回答はほとんどが子どもの母親であったと思われる。

#### 【回答者世帯について】

図3・図4より、地域の回答者世帯は夫婦のみ世帯、夫婦と18歳以上の子ども1~2人の世帯が中心であり、保護者の回答者世帯は夫婦と18歳以下の子どもが1~3人の世帯が中心であったが、曾谷小学区周辺地区の特徴として「三世代」の家族構成を持つ世帯が保護者で24%と比較的高い\*ことが分かった。

\*参考：総務省平成17年度国勢調査による千葉県の世帯の家族構成は、単身世帯26.9%、核家族世帯(夫婦のみ、夫婦と子ども、一人親と子ども)62.1%、その他の世代11.0%となっている。その他世代とは「両親と夫婦からなる世帯」や「兄弟姉妹からなる世帯」を言い、本調査の「三世代」は国勢調査ではその他の世代に含まれる。

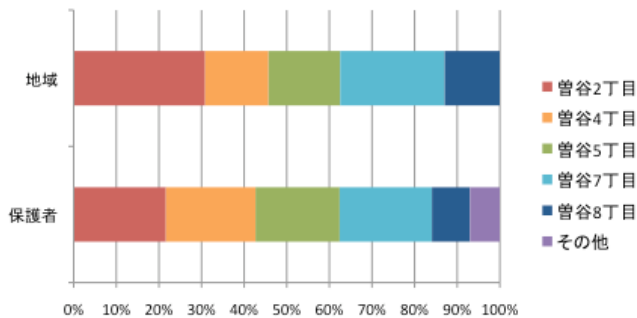


図5 回答者の居住地 (SA)

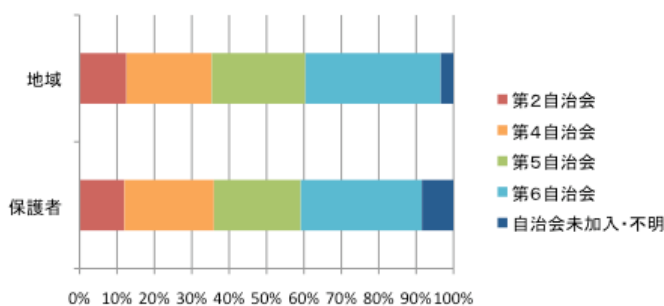


図6 自治会への加入状況 (SA)

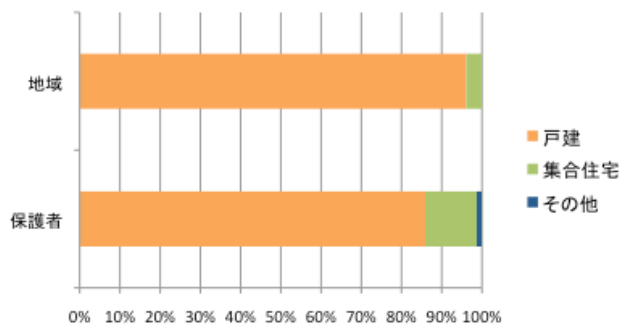


図7 住居の建て方 (SA)

【回答者の居住地】

図5より、地域の回答者は曾谷2丁目の居住者が30%、曾谷7丁目の居住者が25%で若干多いが、おおむね分散された。保護者の「その他」選択者の具体的な居住地は、曾谷1丁目・曾谷3丁目・曾谷6丁目・稲越であった。

【自治会への加入状況】

図6より、自治会加入率は地域97%、保護者92%\*であった。なお、地域における各自治会加入の回答の割合は、アンケート調査票の各自治会の配布割合とほぼ一致し、どの自治会も同程度の回収率であることが分かった。

\* 図5「その他」該当者は除いて集計

\*

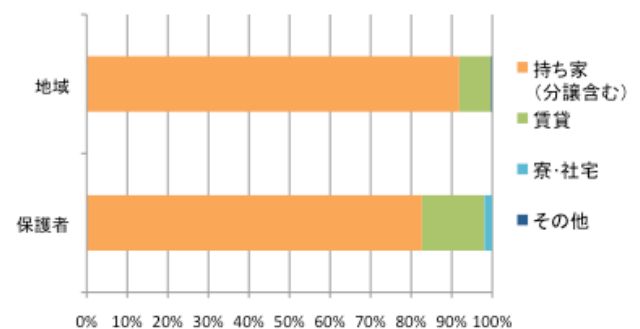


図8 住居の所有形態 (SA)

【住居の建て方・所有形態・居住年数】

図7より、戸建て住宅に居住する回答者が地域96%、保護者86%と多かった。また、図8より、持ち家(分譲含む)の回答者が地域92%、保護者82%と多かった。図9より、地域は20年以上居住している定住型の回答者が78%であり、保護者は子どもがいる若い世帯であるため、居住年数が10年未満の回答者が49%であった。しかし、三世代世帯が多いためか20年以上居住している世帯も38%あった。

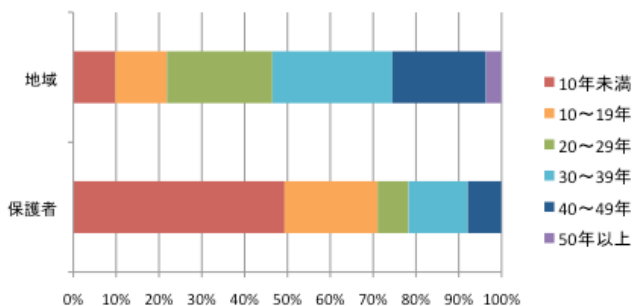


図9 現在の地域への居住年数 (SA)

2-2. 防犯まちづくり活動の認知度・関心度・評価

Q. あなたは、お住まいの地域で行われている次の活動等をどの程度知っていますか (SA)

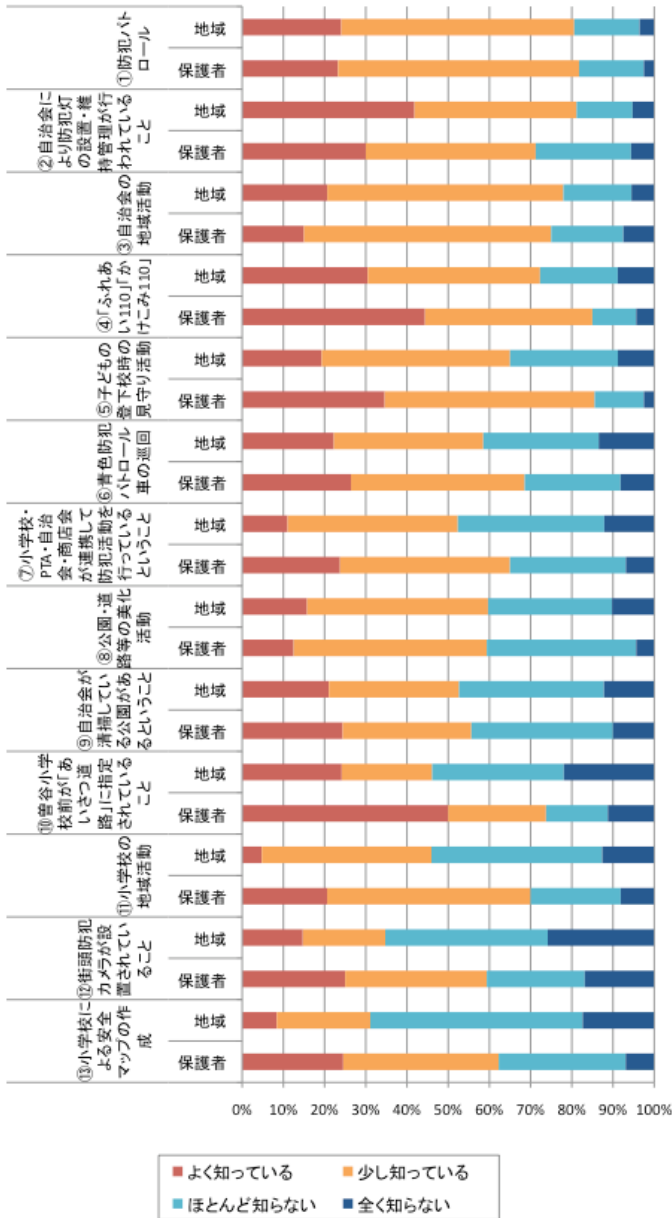


図10 防犯まちづくり活動の認知 (SA)

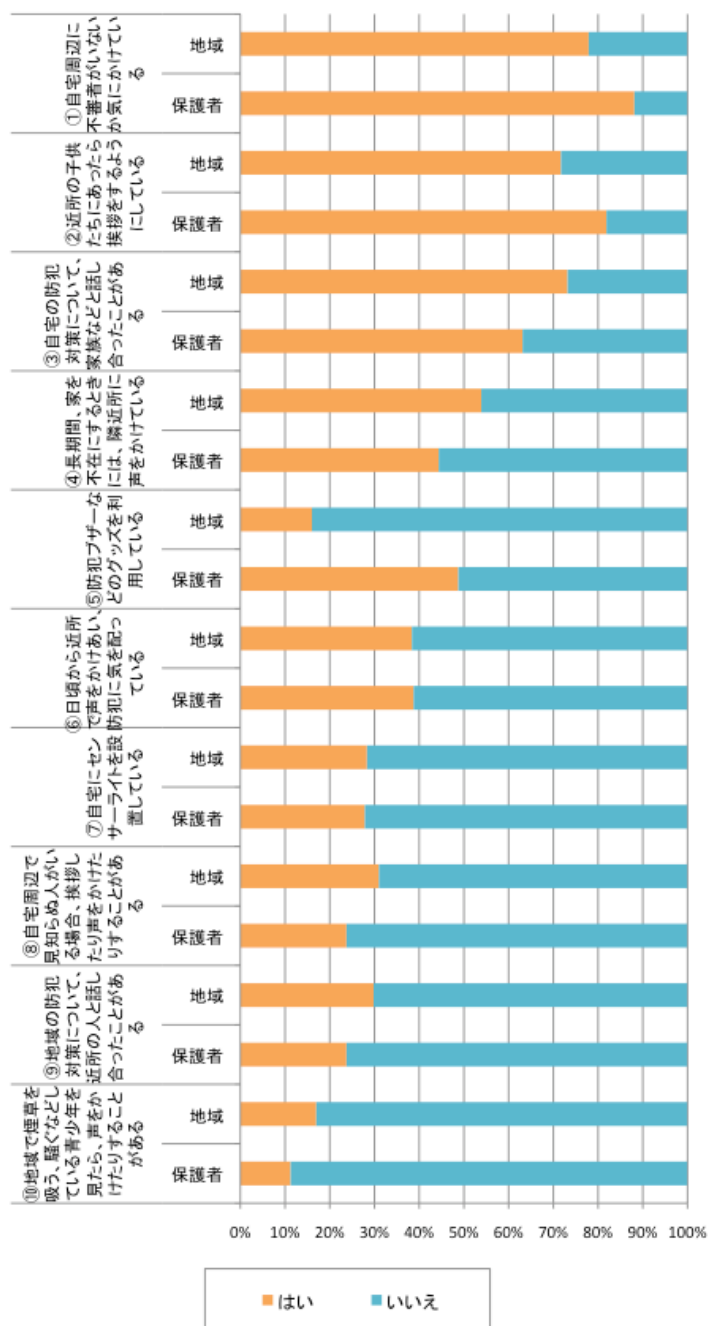
【地域・保護者ともに「よく知っている・少し知っている」の割合が50%以上の活動】

- ①防犯パトロール (保護者83%、地域81%)
- ②自治会により防犯灯の維持管理が行われていること (地域82%、保護者72%)
- ③自治会の地域活動 (地域77%、保護者75%)
- ④「ふれあい110」「かけこみ110」 (保護者85%、地域73%)
- ⑤子どもの登下校時の見守り活動 (保護者86%、地域65%)
- ⑥青色防犯パトロール車の巡回 (保護者68%、地域58%)
- ⑦小学校・PTA・自治会・商店会が連携して防犯活動を行っているということ (保護者65%、地域53%)
- ⑧公園・道路の美化活動 (地域59%、保護者59%)
- ⑨自治会が清掃している公園があるということ (保護者55%、地域53%)

【保護者のみ「よく知っている・少し知っている」の割合が50%以上の活動】

- ⑩曾谷小学校前が「あいさつ道路」に指定されていること (保護者74%、地域46%)
- ⑪小学校の地域活動 (保護者70%、地域46%)
- ⑫街頭防犯カメラが設置されていること (保護者59%、地域35%)
- ⑬小学校による安全マップの作成 (保護者63%、地域32%)

Q. 安全のために日頃から心がけていること、行っている対策はありますか (SA)



【地域・保護者ともに「はい」の割合が50%以上の活動】

- ① 自宅周辺に不審者がいないか気にかけている (保護者 88%、地域 78%)
- ② 近所の子供たちにあつたら挨拶をしようとしている (保護者 82%、地域 72%)
- ③ 自宅の防犯対策について、家族などと話し合ったことがある (\*一人暮らしの人を除く) (地域 74%、保護者 64%)

【地域のみ「はい」割合が50%以上の活動】

- ④ 長期間、家を不在にするときは、隣近所に声をかけている (地域 54%、保護者 45%)

【地域・保護者ともに「はい」の割合が50%未満の活動】

- ⑤ 防犯ブザーなどのグッズを利用している (保護者 49%、地域 16%)
- ⑥ 日頃から近所で声をかけあい、防犯に気を配っている (地域 39%、保護者 39%)
- ⑦ 自宅にセンサーライトを設置している (地域 28%、保護者 28%)
- ⑧ 自宅周辺で見知らぬ人がいる場合、挨拶したり声をかけたりすることがある (地域 31%、保護者 24%)
- ⑨ 地域の防犯対策について、近所の人と話し合ったことがある (地域 30%、保護者 24%)
- ⑩ 地域で煙草を吸う、騒ぐなどしている青少年を見たら、声をかけたりすることがある (地域 17%、保護者 11%)

図 11 日常的に心がけている防犯活動・対策 (SA)

Q. 次のうち、ご自分やご家族が参加したことがある地域活動はありますか (MA)

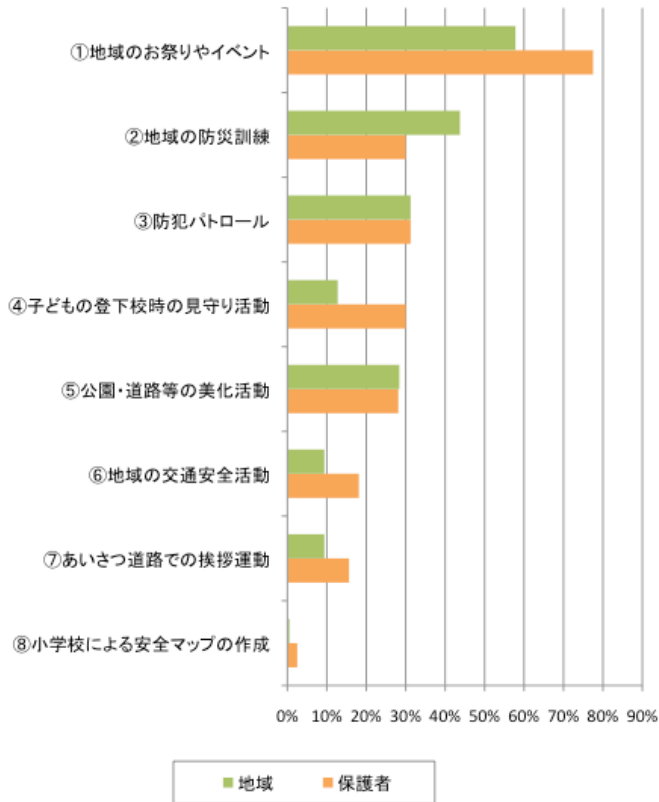


図 12 自身や家族の地域活動参加経験 (MA)

**【地域・保護者ともに参加したことがある割合が30%以上の活動】**

- ①地域のお祭りやイベント  
(保護者78%、地域58%)
- ②地域の防災訓練  
(地域44%、保護者30%)
- ③防犯パトロール  
(地域31%、保護者31%)

**【保護者のみ参加したことがある割合が30%以上の活動】**

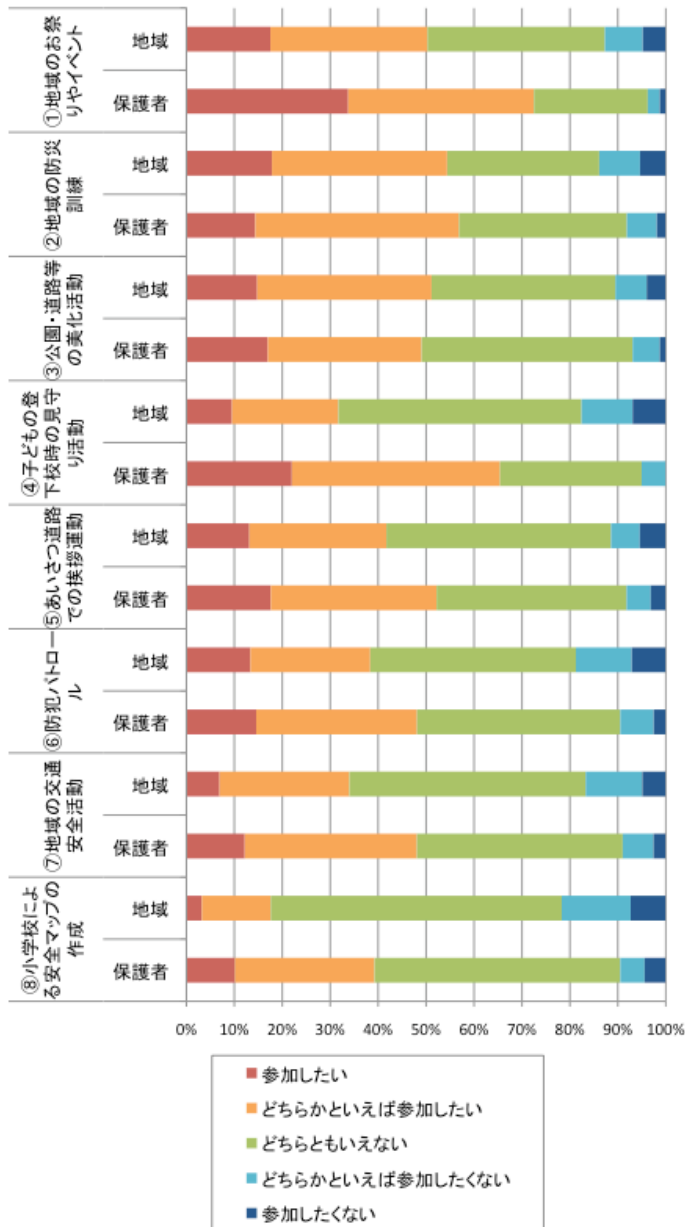
- ④子どもの登下校時の見守り活動  
(保護者30%、地域13%)

**【地域・保護者ともに参加したことがある割合が30%未満の活動】**

- ⑤公園・道路等の美化活動  
(地域28%、保護者28%)
- ⑥地域の交通安全活動  
(保護者18%、地域9%)
- ⑦あいさつ道路での挨拶運動  
(保護者16%、地域9%)
- ⑧小学校による安全マップの作成  
(保護者3%、地域1%)

Q. あなたの今後の地域活動に対するご意向を教えてください(SA)

\*「実際に参加できるかどうか」に依らず、現在の気持ちを回答。参加経験の有無にかかわらず回答。



【地域・保護者ともに「参加したい・どちらかといえば参加したい」の回答が40%以上の活動】

①地域のお祭りやイベント

(保護者73%、地域50%)

②地域の防災訓練 (保護者56%、地域55%)

③公園・道路等の美化活動

(地域51%、保護者49%)

④子どもの登下校時の見守り活動

(保護者66%、地域32%)

⑤あいさつ道路での挨拶運動

(保護者53%、地域42%)

【保護者のみ「参加したい・どちらかといえば参加したい」の回答が40%以上の活動】

⑥防犯パトロール (保護者47%、地域38%)

⑦地域の交通安全活動

(保護者48%、地域34%)

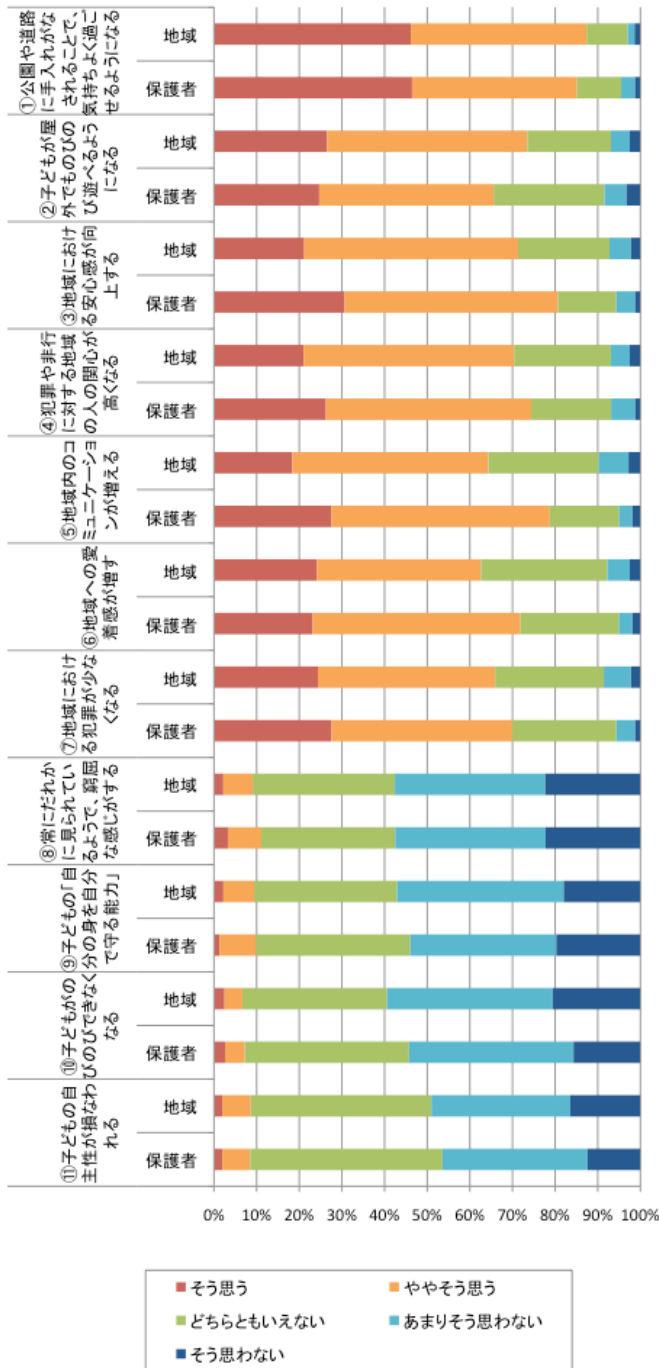
【地域・保護者ともに「参加したい・どちらかといえば参加したい」の割合が40%未満の活動】

⑧小学校による安全マップの作成

(保護者39%、地域17%)

図13 自身の地域活動参加意向(SA)

Q. 小学校・P T A・自治会・商店会が連携して行っている防犯活動には、どのような効果、影響があると思いますか(SA)



【地域・保護者ともに「そう思う・ややそう思う」の割合が50%以上の項目】

①公園や道路に手入れがなされることで、気持ちよく過ごせるようになる。

(地域87%、保護者85%)

②子どもが屋外でのびのび遊べるようになる

(地域74%、保護者66%)

③地域における安心感が向上する

(保護者81%、地域71%)

④犯罪や非行に対する地域の人の関心が高くなる

(保護者74%、地域70%)

⑤地域内のコミュニケーションが増える

(保護者79%、地域64%)

⑥地域への愛着が増す

(保護者73%、地域63%)

⑦地域における犯罪が少なくなる

(保護者70%、地域66%)

【地域・保護者ともに「そう思う・ややそう思う」の割合が50%未満の項目】

⑧常に誰かに見られているようで、窮屈な感じがする(保護者11%、地域9%)

⑨子どもの「自分の身を自分で守る能力」が育たなくなる(保護者10%、地域9%)

⑩子どもがのびのびできなくなる(保護者7%、地域6%)

⑪子どもの自主性が損なわれる(地域8%、保護者8%)

図14 防犯まちづくり活動の効果・影響(SA)

### 2-3. 犯罪不安感・子どもの自由あそびに関する態度

Q. あなたな、お住まいの地域で次のようなことが起こる不安をどの程度感じますか(SA)

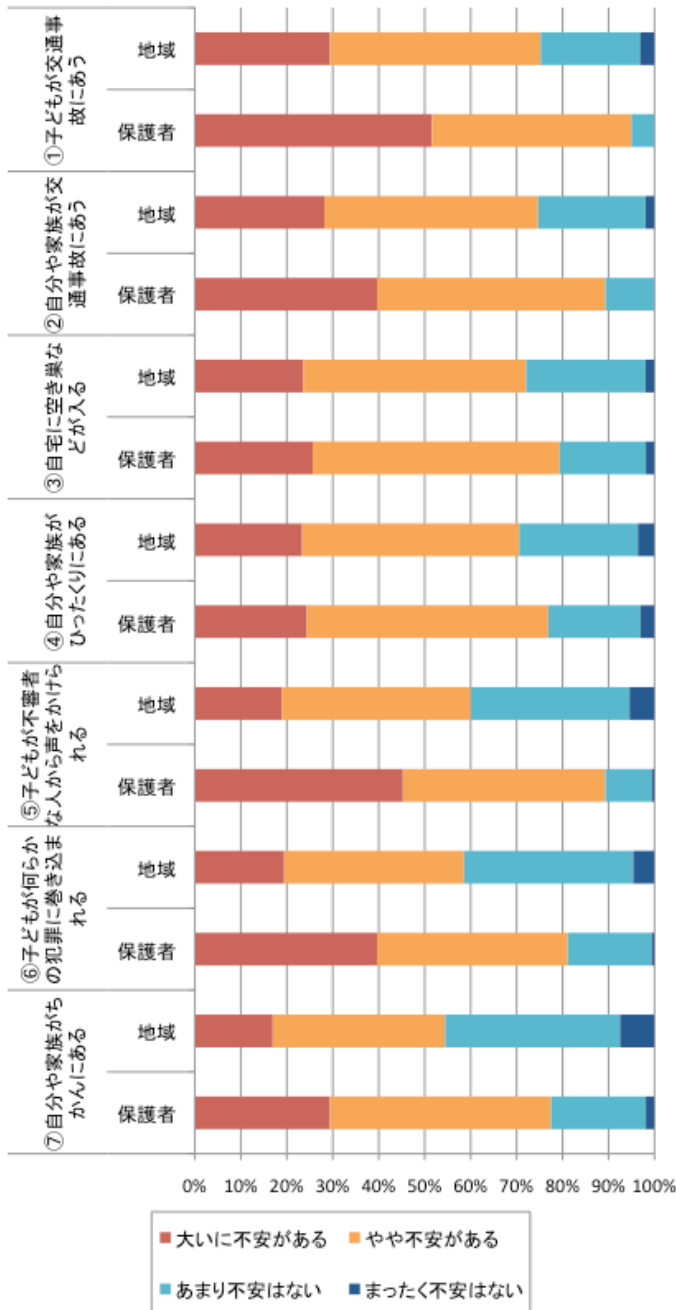


図 15 犯罪不安感

【地域・保護者ともに「大いに不安がある・やや不安がある」の割合が70%以上の項目】

- ①子どもが交通事故にあう  
(保護者95%、地域75%)
- ②自分や家族が交通事故にあう  
(保護者89%、地域75%)
- ③自宅に空き巣などが入る  
(保護者79%、地域72%)
- ④自分や家族がひったくりにあう  
(保護者77%、地域70%)

【保護者のみ「大いに不安がある・やや不安がある」の割合が70%以上の項目】

- ⑤子どもが不審者などから声をかけられる  
(保護者89%、地域60%)
- ⑥子どもが何らかの犯罪に巻き込まれる  
(保護者81%、地域59%)
- ⑦自分や家族がちかんにあう  
(保護者77%、地域55%)

Q. 小学生の子ども同士で自由あそびする場合、  
ご自宅として決めていることはありますか(MA)

\*小学生の子どもが複数いる場合：一番下の学年の子ども、  
同学年で複数いる場合：一番厳しくしている子どもにつ  
いて回答

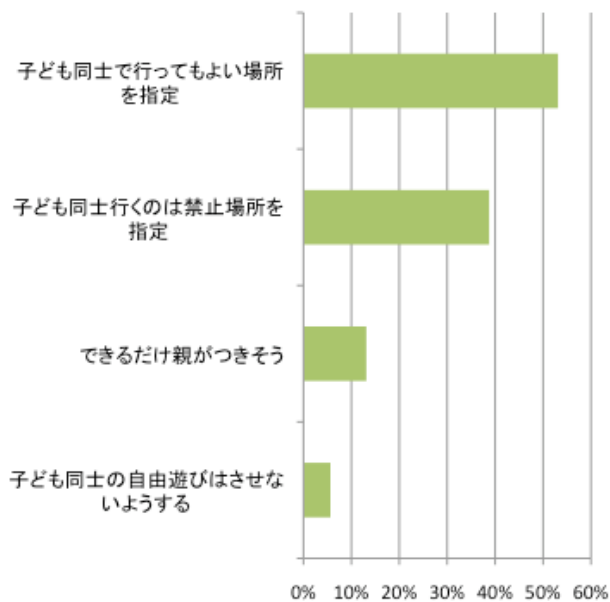


図 16 子どもの自由あそびについて(MA)

図 16 より、53%の保護者が「子ども同士で行ってもよい場所を指定」、39%の保護者が「子ども同士で行くのは禁止場所を指定」と回答しており、約半数が自由あそびに関して何らかの対応をしていた。「できるだけ親がつきそう」保護者は13%、「子ども同士の自由あそびはさせないようにする」保護者は6%であった。

子ども同士で行ってもいい場所、行かせない場所の具体例(自由回答)は表1、表2のとおりである。

表 1. 子ども同士で行ってよい場所の具体例(人)

公園	61
ビーイング(曾谷小)	52
友達の家	20
貝塚	12
公民館	8
曾谷地域内(学区内含む)	5
親と約束した場所	3
自宅(マンション含む)敷地内	3
駄菓子屋	2
家の前の道路	2
大人の目が届くところ	2
通学路など知っているところ	1

表 2. 子ども同士で行かせない場所の具体例(人)

その他のお店(コンビニなど)	12
学区外(遠いところ)	12
大型商業施設	10
池・川	7
駅	7
知らない場所	7
公園	6
交通量の多い道路	5
親が許可した場所以外禁止	4
人気の少ないところ	4
ゲームセンター	3
公園	2
貝塚	2
お金を使う場所	2
危ない場所	2
人の迷惑になるところ	2
工事現場	2
友達の家	1
北国分	1
登下校で通らないところ	1
駐車場	1
映画	1

2-4. 曾谷小学校周辺地区の地域評価

Q. あなたは、お住まいの地域についてどうお考えですか (SA)

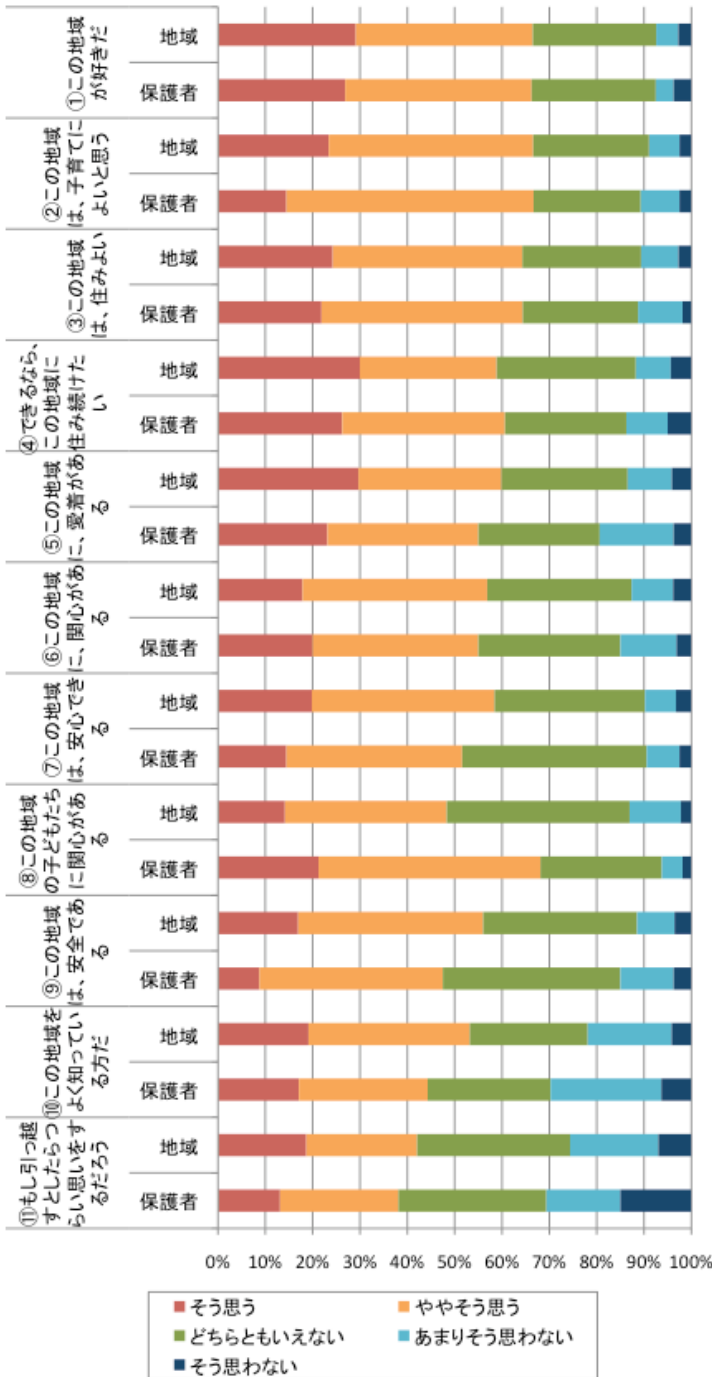


図 17 地域に対する自身の意見 (SA)

【地域・保護者ともに「そう思う・ややそう思う」の割合が50%以上の項目】

- ①この地域が好きだ  
(地域66%、保護者66%)
- ②この地域は、子育てに良いと思う  
(地域66%、保護者66%)
- ③この地域は、住みよい  
(地域64%、保護者64%)
- ④できるなら、この地域に住み続けたい  
(保護者60%、地域59%)
- ⑤この地域に、愛着がある  
(地域60%、保護者55%)
- ⑥この地域に、関心がある  
(地域57%、保護者55%)
- ⑦この地域は、安心できる  
(地域59%、保護者52%)

【保護者のみ「そう思う・ややそう思う」の回答が50%以上の項目】

- ⑧この地域の子どもたちに関心がある  
(保護者68%、地域49%)

【地域のみ「そう思う・ややそう思う」の回答が50%以上の項目】

- ⑨この地域は、安全である  
(地域56%、保護者47%)
- ⑩この地域をよく知っている方だ  
(地域53%、保護者44%)

【地域・保護者ともに「そう思う・ややそう思う」の回答が50%未満の項目】

- ⑪もし引越すとしたらつらい思いをするだろう  
(地域42%、保護者38%)

2-5. 地域のコミュニケーションの状況

Q. お住まいの地域を、いろいろな観点から評価してください(SA)

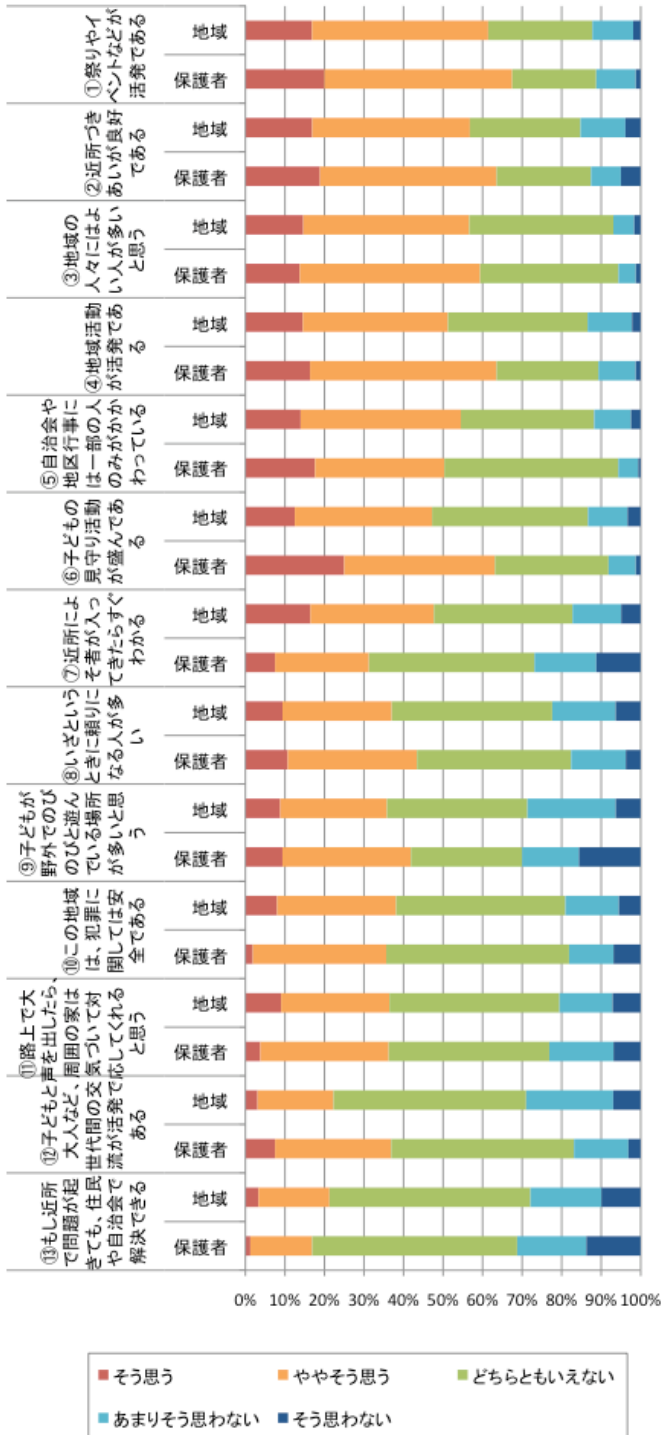


図 18-1 地域のコミュニケーション等に対する評価(SA)

【地域・保護者ともに「そう思う・ややそう思う」の割合が50%以上の項目】

- ①祭りやイベントなどが活発である  
(保護者68%、地域61%)
- ②近所づきあいが良好である  
(保護者63%、地域57%)
- ③地域の人々にはよい人が多いと思う  
(保護者59%、地域57%)
- ④地域活動が活発である  
(保護者63%、地域51%)
- ⑤自治会や地区行事には一部の人のみがかかわっている(地域54%、保護者50%)

【保護者のみ「そう思う・ややそう思う」の割合が50%以上の項目】

- ⑥子どもの見守り活動が盛んである  
(保護者63%、地域47%)

【地域・保護者ともに「そう思う・ややそう思う」の割合が30%以上50%未満の項目】

- ⑦近所によそ者が入って来たらすぐ分かる  
(地域48%、保護者31%)
- ⑧いざというときに頼りになる人が多い  
(保護者43%、地域37%)
- ⑨子どもが野外でのびのびと遊んでいる場所が多いと思う(保護者41%、地域36%)
- ⑩この地域は、犯罪に関しては安全である  
(地域38%、保護者35%)
- ⑪路上で大声を出したら、周囲の家は気づいて対応してくれると思う  
(地域36%、保護者36%)

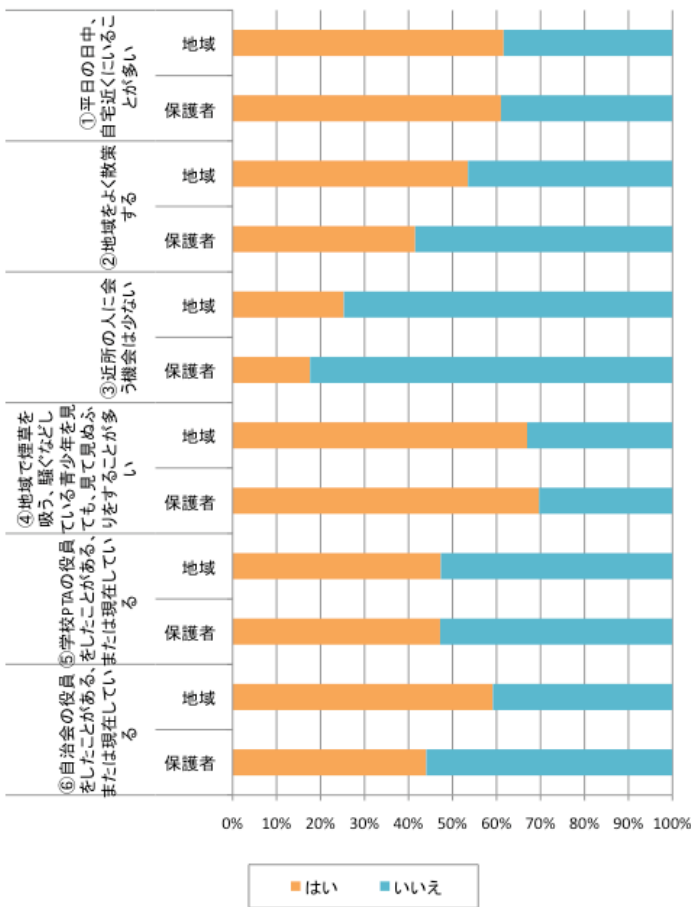
【保護者のみ「そう思う・ややそう思う」の割合が30%以上50%未満の項目】

⑫子どもと大人など、世代間の交流が活発である  
(保護者 37%、地域 22%)

【地域・保護者ともに「そう思う・ややそう思う」  
の割合が30%未満の項目】

⑬もし近所で問題が起きても、住民や自治会で解  
決できる (地域 21%、保護者 17%)

Q. 「はい」「いいえ」でお答えください(SA)



【地域における行動】

①平日の日中、自宅近くにいることが多い

(地域 62%、保護者 61%)

②地域をよく散策する

(地域 54%、保護者 42%)

③近所の人に会う機会は少ない

(地域 25%、保護者 17%)

④地域で煙草を吸う、騒ぐなどしている青少年を見ても、見て見ぬふりをする人が多い

(地域 66%、保護者 70%)

【地域役員活動】

⑤学校の PTA 役員をしたことがある、または現在している (地域 47%、保護者 47%)

⑥自治会の役員をしたことがある、または現在している (地域 59%、保護者 44%)

図 18-2. 地域における行動・地域役員活動 (SA)

Q. あなた自身やご家族と、次のようなお付き合いをされている人はいらっしゃいますか。お住まいの地域の中に何人ぐらいいらっしゃるかで教えてください(SA)

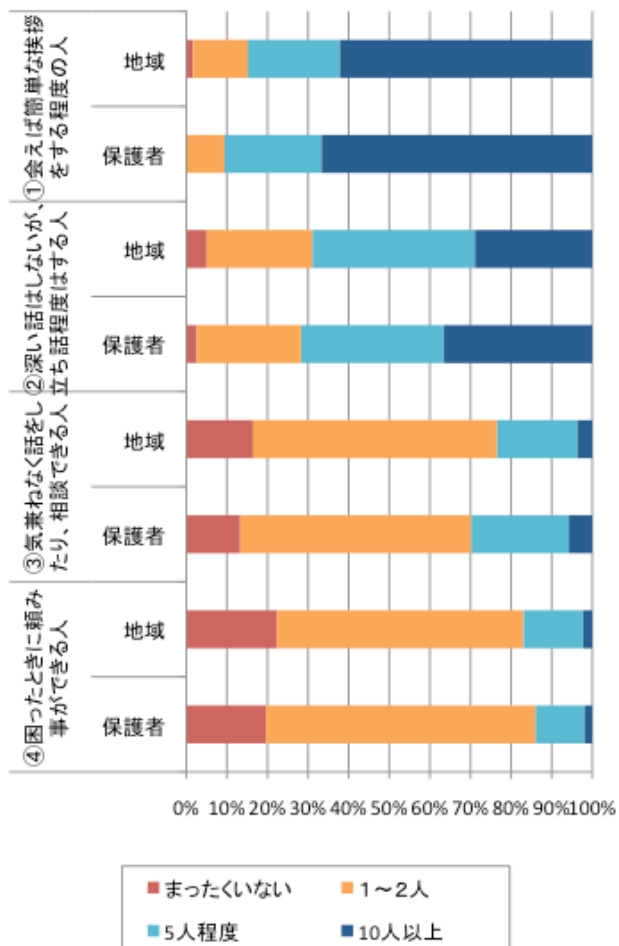


図 19. 近所づきあいの傾向 (SA)

【①会えば簡単なあいさつをする程度の人】

地域・保護者ともに「10人以上」（地域62%、保護者67%）が最も多かった。

【②深い話はしないが、立ち話程度はする人】

地域は「5人程度」が40%で最も多かった。保護者は「5人程度」と「10人以上」がともに36%で最も多かった。

【③気兼ねなく話をしたり、相談できる人】

地域・保護者ともに「1~2人」（地域60%、保護者57%）が最も多かった。

【④困ったときに頼み事ができる人（留守番や物の貸し借りなど）】

地域・保護者ともに「1~2人」（地域61%、保護者66%）が最も多かった。

2-6. 街の安全に関する、防犯まちづくり委員会  
構成団体への期待度

Q. あなたは、子どもや曾谷地域の安全に対して、  
次の団体・機関がどれくらい頼りになると思われ  
ますか(SA)

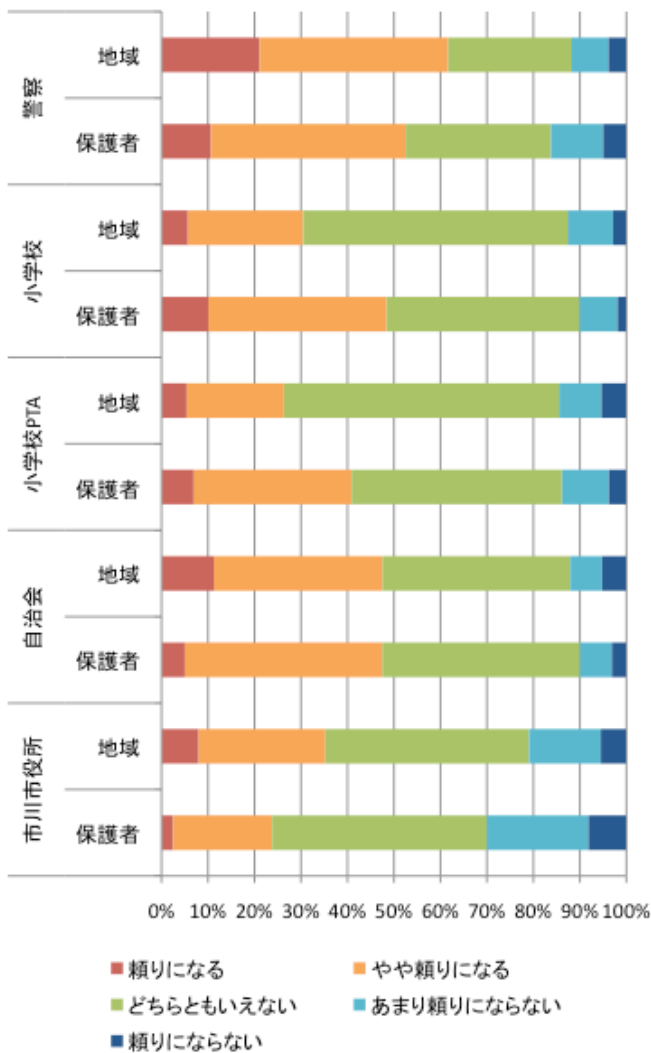


図 20. 安全に関する各団体・機関への期待度 (SA)

【警察】

地域の62%、保護者の53%が「頼りになる・  
やや頼りになる」と回答した。

【小学校】

地域の30%、保護者の48%が「頼りになる・  
やや頼りになる」と回答した。「どちらとも言え  
ない」の回答は、地域が58%、保護者が32%  
であり、特に地域は安全に関して小学校が頼れる  
かどうかについて、判断しかねる人が多かった。

【PTA】

地域の26%、保護者の41%が「頼りになる・  
やや頼りになる」と回答した。「どちらとも言え  
ない」の回答は、地域が60%、保護者が45%  
であり、両者とも安全に関して小学校PTAが頼  
れるかどうかについて、判断しかねる人が多かつ  
た。

【自治会】

地域の47%、保護者の47%が「頼りになる・  
やや頼りになる」と回答した。「どちらとも言え  
ない」の回答は、地域が41%、保護者が43%  
であり、両者とも安全に関して自治会が頼れるか  
どうかについて、判断しかねる人が多かった。

【市川市役所】

地域の35%、保護者の24%が「頼りになる・  
やや頼りになる」と回答した。「どちらとも言え  
ない」の回答は、地域が44%、保護者が46%  
であり、両者とも安全に関して市川市役所が頼れ  
るかどうかについて、判断しかねる人が多かった。

## 2-7. 情報媒体の利用状況

Q. あなたは、地域の情報を得るためにどのような情報媒体を利用していますか(SA)

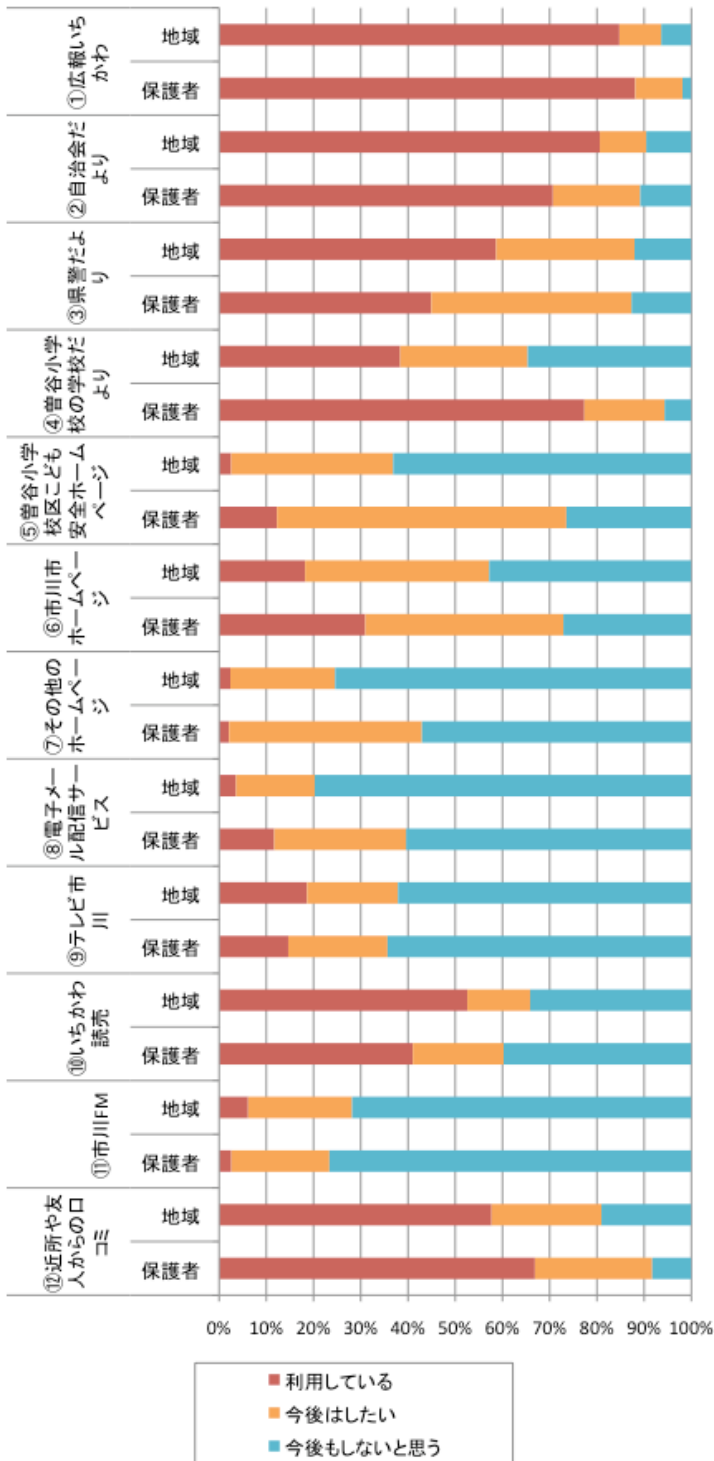


図 21 地域情報の収集に利用する媒体(SA)

### 【紙媒体】

#### ①広報いちかわ

地域の85%、保護者の88%が利用していた。「今後は利用したい」を含めると、地域94%、保護者98%であった。

#### ②自治会だより

地域の80%、保護者の70%が利用していた。「今後は利用したい」を含めると、地域が91%、保護者が89%であった。

#### ③県警だより

地域の58%、保護者の45%が利用していた。「今後は利用したい」を含めると、地域が88%、保護者が87%であった。

#### ④曾谷小学校の学校だより

地域の38%、保護者の77%が利用していた。「今後は利用したい」を含めると地域は66%、保護者は95%であった。

### 【電子媒体】

#### ⑤曾谷小学校校区子ども安全ホームページ

地域の3%、保護者の13%が利用していた。「今後は利用したい」を含めると地域は37%、保護者は73%であり、保護者のニーズが高かった。

#### ⑥市川市ホームページ

地域の18%、保護者の31%が利用していた。「今後は利用したい」を含めると地域は57%、保護者は73%であった。

#### ⑦その他のホームページ

地域・保護者の両者とも3%が利用していた。具体的には「中央図書館」が挙げられていた。「今後は利用したい」を含めると地域は25%、保護者は43%であった。

⑧電子メール配信サービス

地域の4%、保護者の13%が利用していた。欄外に「市川市の防犯メール」の記述があった。「今後は利用したい」を含めると地域は20%、保護者は40%であった。

【マスメディア】

⑨テレビ市川（ケーブルテレビ）

地域の19%、保護者の15%が利用していた。「今後は利用したい」を含めると地域は38%、保護者は35%であった。

⑩いちかわ読売（新聞）

地域の53%、保護者の41%が利用していた。「今後は利用したい」を含めると地域は66%、保護者は60%であった。

⑪市川FM（ラジオ）

地域の6%、保護者の3%が利用していた。「子今後は利用したい」を含めると、地域は28%、保護者23%であった。

【その他】

⑫近所や友人からのクチコミ

地域の57%、保護者の66%が利用していた。「今後は利用したい」を含めると地域は81%、保護者は92%であった。

Q. 「はい」「いいえ」でお答えください(SA)。

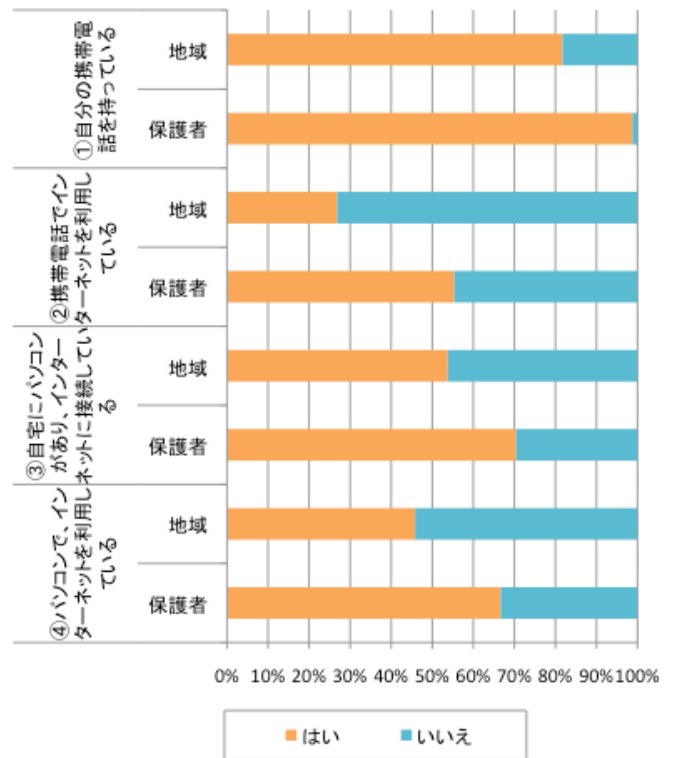


図 23 情報端末利用状況 (SA)

【携帯電話】

地域の82%、保護者の98%が携帯電話を所有しているが、インターネットに接続するのは、地域が27%、保護者が55%であった。

【パソコン】

自宅にインターネットに接続したパソコンがある世帯は、地域が54%、保護者が70%であったが、自分がパソコンでインターネットを利用している人は、地域が46%、保護者が66%であった。

Q. あなたは、「曾谷小学校周辺地区防犯まちづくり計画」の内容をどの程度知っていますか(SA)

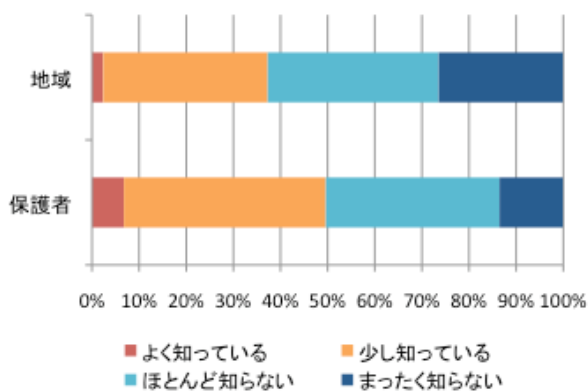


図 24-1 計画内容の認知度 (SA)

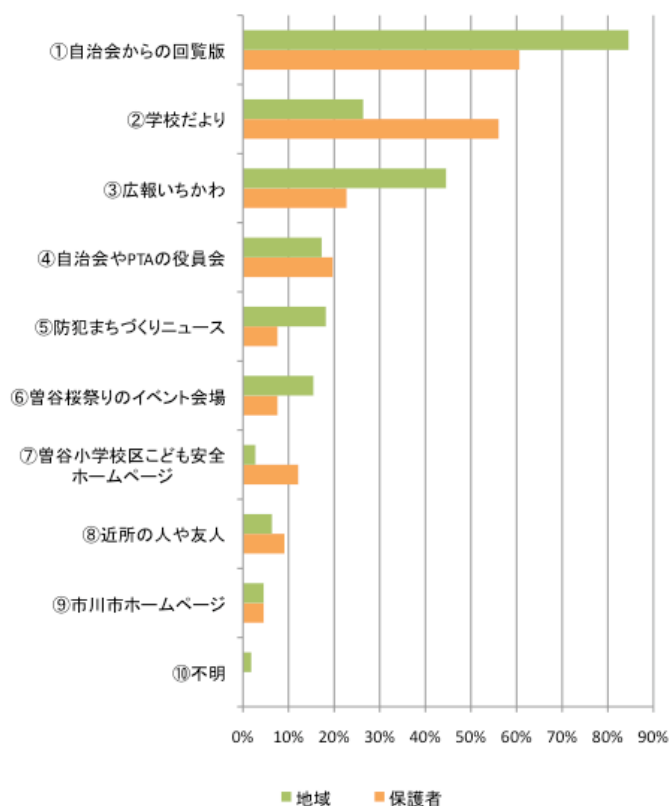


図 24-2 計画内容を知った媒体 (MA)

図 24-1 より、「よく知っている・少し知っている」の割合は、地域が 37%、保護者が 50%であった。

「よく知っている・少し知っている」と回答した人が、どのような媒体を使って知ったかについては、図 24-2 より、以下の結果だった。

①自治会からの回覧板

(地域 85%、保護者 61%)

②学校だより

(地域 26%、保護者 56%)

③広報いちかわ

(地域 45%、保護者 23%)

④自治会やPTAの役員会

(地域 17%、保護者 20%)

⑤防犯まちづくりニュース

(地域 18%、保護者 8%)

⑥曾谷桜祭りのイベント会場

(地域 15%、保護者 8%)

⑦曾谷小学校区子ども安全ホームページ

(地域 3%、保護者 12%)

⑧近所の人や友人

(地域 6%、保護者 9%)

⑨市川市ホームページ

(地域 5%、保護者 5%)

⑩不明 (地域 2%、保護者 0%)

## 2-8. 防犯まちづくりに関する自由回答一覧

### 【防犯まちづくりや地域への関心に関する感想】

- ・ 老齢になって諸々の行事等に参加出来なくなったことが寂しいですが、自分で無理のない範囲で出来ることには参加したいと思っております。
- ・ 防犯パトロールをしてくださっている方たちには感謝しています。
- ・ この街で生まれこの街で育った3人の子どもがそれぞれ成長して巣立っていきました。多くの方に見守られて大きくなったことを感謝しています。
- ・ オレンジの帽子のかぶっている方が、登下校時に、子供たちにあいさつをして下さっているのを何度か見かけました。地域の皆様に、見守って頂ける子供たちはとても幸せだと思います。今後も、子供たちを見守って下さるとうれしいです。
- ・ 防犯について少しは気にしていましたが、深くは考えてはいませんでした。でも、アンケートに答えながら、日々の事（あいさつ、声かけなど）が大切という考えが深くなりました。
- ・ ひっこしてきたばかりなので曾谷の町のことをよく知らないのこれから色々な地域活動等をしていきたいと思えます。
- ・ 盗難や痴漢が時々あると近所の方に聞き、のどかな場所でも犯罪があることを再認識しています。防犯活動が必要なことだと理解しました。
- ・ 大変参考になる調査で、住み良い地域を維持できる様協力したいと思います。
- ・ いろいろな活動について、良く知らない人でも、自然に自分の地域に感心を持ち、住みよくしたいと思うような地道な努力が必要かと思えます。
- ・ これからも今のままでよい
- ・ とても住み良い所です。自分は性格上明るいので近所でも子供達、老人にも声をかけます。
- ・ 私どもはいつも家に居ります事が多いので、地震などの折、子供達を見守りたいといつも思ってお

ります。

- ・ 70才以上の高齢の為、体力的に活動するのは無理になっています。出来る範囲内で協力はしたいと思っており、自分の事は迷惑をかけぬ様に心がけて行きたいと思えます。
- ・ とにかく近所であいさつしたり、知らない人でも、近所であれば声をかけあうことが大切だと思う
- ・ あいさつ道路であいさつしても知らないフリをする人がまだ多いからあいさつが返してもらえればいいのと思う
- ・ 向三軒両隣、ご近所とのお互さまが安全・安心な地域につながり、子どもたちが安心して住める場所につながると思う。まず1人1人が地域に関心を持ってもらうように努力していきたいと考えます。
- ・ 大きな視野で育て、愛着のある、誇りのある街になってほしい。
- ・ 私自身、ご近所とは、あまりコミュニケーションをとっていない方ですが、学校・自治会・警察・ご近所のネットワークがしっかりしていればうまく防犯出来ると思います。少し反省です。子供が義務教育中は、地域のかかわりが非常に多かったが、大学に3人の子が通う様になると共働きで、家事や仕事が、とても忙しくなり、地域のかかわりが、気づくとほとんど少ない。
- ・ 現在、身体が不自由のため、物事にはうとくなっているため活動に関心がない。すみません。
- ・ 我が家が住みはじめた時と今では大きく変化しました。住む人の数が増えたことでむしろお互に無関心になり、親しさや、やさしさが、失われて行くように思います。昔から住んでいる者達と、近年住むようになった人との温度差はこの地区の昔の良さを、自治会そのものから変えてしまったように思います。防犯面にそれが表われているとも思えます。
- ・ 昔この辺は、ご近所のふれあいがあつて大変すみ

良かったが、今は持家同士でも、マンション化され、「我れ感せず」の様にふれあいがなくなった。これも時代の流れかもしれないが…。

- ・ 曾谷地区は老人、年配者が多く見られることによる防犯・小学生、学校との連携はむずかしいと思います
- ・ 地域の学校を中心にネットワークを構築しようとする試みは有意義かつ効率的である。しかし、その枠外にいる人々—例えば単身者、外国人、障害者などを取り組む試みも模索される必要があるのではないか。但しいずれにせよ窮屈なのは困る。逆に不審者と思われぬよう自己規制している部分もある。
- ・ 一部の自己中心的体質の人々による、中途半端な街づくり（道路や住宅（特に集合住宅）の土地利用）が、ここに長く住む多くの人々にとって便利で安全な地域の形成、熟成を阻害している。市役所職員及び地域の犬（中）地主の『公』の意識を持つような改革が必要と考える。（無理なことだと思うが…）
- ・ アンケートによって改めて地域の事を考える事が出来ました。
- ・ アンケートをとっただけに終らず実際に、実施出来るようにしてほしい。

#### 【犯罪・迷惑行為に関する意見・要望】

- ・ ここ10年位、ひったくりや、チカン、風呂場覗き等の不審者が多くなっています。私自身もひったくりに会いまして、歩道を歩いている右手にバッグを持っていましたが歩道の内側に後ろからバイクが入って来て、右手のバッグを盗られました。
- ・ 近所の方の庭から、チューリップが盗まれました、その家で、「花を返して下さい」と札を立てたら、犬のうんちが置いてあったそうです。

- ・ 全体かつ閉鎖的で、挨拶もままらない、泥棒に何回か入られたり、鉢、盆栽等、被害、大なり、不振感の募る思いです。
- ・ 以前にちかんに会ってしまった時、地区の公民館にとっさに頼りましたが、半笑いの態度で、適切な対応ではありませんでした。下校時刻がせまっていたので危険ではないかと思ったのですが（警察等に即連絡して欲しかった）聞き流す様な態度だった。紙面であれこれ言ってるわりには意識の低い地域だと思う。
- ・ 放置自転車が自宅門扉前に駐輪されてしまう（盗難車もあった）。
- ・ 路上禁煙
- ・ 犬の散歩時、ペットボトルで水を持ち歩き、尿の後に水をまく。糞は持ち帰る。特に暗いとき。
- ・ 電柱に植物の蔓を這わせている人がいるが、そのために電話線が傷つき、電話通信に障害が出たことがある。
- ・ 町に国？所有の空地が多々あり、そこに休む車もかなりあり、そこの入れないはずの公園の中にどろろかして入り、たばこ、ゴミをちらかしてあったりして、見通しはいいはずなのだが、あまりよくないと思う。どうして入ってはいけない公園に使えない遊具がおいてあるのかすごく不満。
- ・ 街が汚れている事がとても気になります。道に出ているビン・カンのカゴにゴミなどあふれ、気分まで暗くなります。自分の家の前ぐらいそうじしてくれればいいのと思います。
- ・ ゴミの集積場の近くですがきちんとゴミ出しをしてもらいたい。
- ・ 登校途中の大どもにあいさつしてもしらんぷりで、親共々食べ物をすてていた。夏休み中。
- ・ となりが竹やぶで地主が東京都内の人で30年以上全くきていないので大木が年々大きくなり通学路であり防犯などでも困っている。連絡などできない状態でどのようにしたらよいか？こ

れを機会に教えていただきたい

### 【交通安全に関する意見・要望】

- ・ 自宅に駐車場がないから路上駐車している人がいる。
- ・ 道路の整備も悪く、交通事故が起きても仕方がない状況と思えます。
- ・ 日中歩いていたとき、狭い道なのでよけたのですが、車に引っかけられました。その車は停車する事なく徐行していたのですが、「車は止めました、こんな狭い所を歩いているあなたが悪い」と云い、私が「警察にも同じ事を言って下さい、呼びますから」と云うと逃げて行ってしまいました。
- ・ 歩道の整備をして欲しいです。大型車などの交通量が多いバス通りに歩道がない、もしくは狭くて段差が多いのは大変危険だと思います。
- ・ 道がせまくて皆歩きましょうと云うわりに、道が歩ける状態ではないです。八幡迄良く歩きますが、雨の日など傘をさして歩くのがとっても大変です。水たまりがあったり電柱があったり、これは何とかありませんか。
- ・ 高齢の方が多く、散歩しているので、車の運転に気がつかっています。歩道・車道の区がほとんど役に立たない地域です。もっと道路の整備をお願いしたい！！
- ・ 曾谷5丁目の交差点で老若男女を問わず、信号無視する者が多い。
- ・ 樹木の多い家は結構だが道路に枝が突き出し曲がり角で危険
- ・ 自転車のマナーが大変悪い。(ノンライト、やたらにベルをならす。車が来ても端へ寄ろうとしない。自己中心。
- ・ 桜並木においてあるベンチ、プランターは便利でもあり、春など花がきれいでいいとは思いますが、自転車が通りにくいです。以前徒歩の人に「自転車は本当は木がある方でのるのよ」と言われまし

た。確かに別々分かれていた方が安全ではあると思いますが、自転車に乗って通るとなるとベンチ、プランターはジャマじゃないでしょうか？他の人は何も言いませんか？

- ・ 桜並木の歩道を自転車と人がぶつからないような工夫をして欲しい。
- ・ カーブミラーが少ない。

### 【子どもの遊び場、子どもの安全・安心、青少年の非行に関する意見・要望】

- ・ 子供達がボール遊びなどできる広場がもっと増えると良いのにと思う。
- ・ 孫の遊べる場所が少ない。
- ・ 子供が遊ぶ公園が少ない中、弁天池公園やへび公園？が主に子供達が遊んでいます。その公園をもっとオープンにきれいにしてほしい。池が汚なく、うっそうとしていて怖い。池の奥の方が防犯的に見通しも悪く良くないと思いました。
- ・ 車の近くで1人で遊ぶ子供が居るが、家族は無関心の様子で迷惑している。近所の方の子供なので言うのがむずかしい。
- ・ 夕方のチャイムをもっと細かく変動してほしい。回りは、大人の地域であり、子供が住みにくい(ボール遊び禁止など…)それに共ない、子供のいる親も住みにくい。
- ・ 曾谷7丁目のあたりは、子供が遊べる様な大きな公園などがなく、未就学の子供を遊ばせる所がなく、困ります。
- ・ 子供達が安全に遊べる場所が多くなるといいと思います。子供を連れて参加できる活動があるといい。
- ・ 最近子供たちが原っぱ、公園などよく利用しているのを見る。貝塚が犬の散歩に利用されているので、市に1ヶ所だけ犬を入れないよう相談しましたがだめでした。
- ・ 曾谷小の子供達は自分からあいさつのできる子

供達であってほしい（こちらから声をかけないとしらない）子が多い。

- ・ 小さな子供さん、小学生、中学性、高校生、誰れにでも声かけています。皆いい子達です。答えてくれます。怖がらずに声をかけてあげて欲しいです。なにしているの？あぶないよ気をつけてね？おかえり！…
- ・ 子供が悪さをして注意する大人、一緒にやっている大人が、この地域だけじゃなくても多くなっていると思います。子供に注意しても、親に文句言われたり…。何でもやっていいと思う子供が増えているので、何とかしたいです！！
- ・ 学校であいさつ通路というのがありますが子供さんはあいさつすると返事がかえってくるのに、その子の親はあいさつしたくない。というのが感じられる。
- ・ 現在住んでいるところは自転車や車で移動する私（大人）にとっては安全に近いと思いますが、子供が一人で歩いて登下校をするには人気が無く不安なので小学校入学までに引っ越す予定です。
- ・ 子供達は（小学校）集団登校するべき
- ・ 街灯をもっと明るくしてほしい。小学校の集団登校、集団下校を行ってほしい。下校時は学年によって差があるが、せめて、同学年で、方向が同じ子供らは、集団で下校させてほしい。1人になる時間をなくすため。
- ・ この地域はさんぽをする方がたくさんいて、子供達だけで遊んでいても注意してくれたり、見守ってくださる方が多いのでとても助かっています。
- ・ 8月後半に2才位の迷子を預りました。警察、地域の人達、保育園等に協力してもらい3時間位たっても、判らなかったのでパトカーで保護されました。しばらくして親が見つかったとのTEL。早速皆さんに連絡5丁目～8丁目、公園を連れて捜したが、若い人も、年配も、知らない子だと言

う。こんな小さな町なのに、コミュニケーションがなかったのでしょうか。どの辺の子か知りたかった。何の挨拶もありません。

- ・ 私がこどもの頃は、まだ安全だったと思う。
- ・ 学校の制服を着たまま煙草を吸っている人を見かけますが、だいたい5～6人でのいるので、注意しようにも逆に痛い目に合いそうなので、見て見ぬふりをすることが多いです。自分一人では、なかなか言えません。コンビニ等、警察の方に見守りをお願いしたいくらいです。
- ・ 注意すると逆ギレされて怖い！・通りをこまなくパトロールしてほしい。
- ・ 煙草を吸ったり、騒いだりする青少年はちょっとこわいので注意はなかなかできない。青少年より以前に大人でも煙草のポイ捨て！！そんな事では注意できません。大人が良い見本を見せるべきです。
- ・ 中高生で、たばこをすっている人をよく見かける。
- ・ 高校生がタバコを吸いながら自転車に乗ったり携帯をしながら乗っているが、家庭や学校で注意しないのだろうか。
- ・ 地域で煙草を吸う・さわいでいる人は見た事はありません。
- ・ 何ヶ月前、曾谷小学校内（裏側）でたばこを吸っている中高生が4、5人たまっていました。卒業生なのかはわかりませんが、校内に自由に入室してしまうのが不安に思いました。（土曜日でした）
- ・ 公園も夏休みや夕方、髪の色茶色い中学生等がたむろして子供が怖がっている。

#### 【地域活動等に関する意見・要望】

- ・ 自治会の理事は世襲だと思い込んでいる人がいると思う。
- ・ 防犯まちづくりはかたちだけの自治会で、赤十字の募金、福祉も募金の自治会だと思えます。不景気だと云うのに組合費も。一個人は大変だと思う

…いいにくいので云わないと思う。

- 車社会の今、路上駐車之苦情について警察が来れば近所の人とのあいさつもなくなり、町会の巡回で言われれば反省。ゴミ等も緑地にすてる人を見るが、個人的に云えばトラブルになり、町会の苦情箱に無記名でも対応してもらえれば地域も活性化すると思う
- 自治会が高齢化について考えて欲しい。
- 自治会が住民を生かしていないと思う。
- 一部の人のみで役員を決めるのではなく地域にはもっと貢献できる人がいる。毎年、委員会で暗黙の了解、多数決で決めている。もっと青年層を入れて新しい発想で取りくむべき。
- 自治会の地域と丁目が入りこんでいるので変更が出来ないか。
- 曾谷地区は、地区活動がさかんであるし、自治会の方々も熱心だと思う。ただ子ども会への参加は強制というのは厳しい。子ども（小学生）が、いる限り子ども会の役員は、必ずとっていいくらい頻回にまわってくるが、仕事を持ちながら、学校の役員もひきうけ、子どもの習い事にも行き、なおかつ地区への参加をしなくてはというのは現代の状況にそぐわないことを要求されている。正直いって大変。わずらわしく思うことも多いので転居も考える。
- 防犯の点から、子供達の遊ぶ場所が限定されるので、公園・学校等で近所の仕事をしりぞいた高齢者が子供の事を見る機会を増やす。また、そうした高齢者に地域での何らかのインセンティブが与えられる仕組みを作って欲しい。
- 防犯されているという空気は全くなく、松戸との境いの為か市からの行政も薄く感じる。
- 松戸市には不信者が出たりすると登録している人にメールが届くそうです。市川市にもあったらいいなと思います。
- 交番の方は本当にパトロールして頂いているの

か？

- 警察を頼ってほしいと思います。
- この地域で子育てをしていない為、又、通常仕事で家に居ない為当地について良くわからず、知り合いも少ない。近所の人達との立ち話しもほとんどないので地域の活動情報もほとんど耳に入っていない。
- 子どもがいないので地域の活動（特に学校に関するもの）の情報など知る機会が少ないです。

#### 【防犯灯などの防犯設備に関する意見・要望】

- 20数年前から地域は知っております 当時と比べて、ほとんど地域状況が変わってなく、街灯も他市比べてとても少ない。防犯に務めるならばもっと明るい町づくりをしてほしい
- 防犯カメラの設置、増設をお願いします。
- 新しく作りなおす道路の道巾を広げず、車がすれすれ状態のキレイな道路を作るだけで、そこに夜に真暗になることは考えないのか、ほとんど街灯をつけていない。これでは、チカンをどうぞと言っていると同じこと。市川は、街灯が少なすぎです
- とにかく曾谷小周辺の街灯が暗い→特に北側の一戸建て（新しい）ならぶところ と思う。冬など日が短い時は大人でも不安なくらいです。せめて小学校周囲だけでも、防犯のために明るくするか、防犯予防に効果があるとされるブルーライトにしてほしい。
- 貝塚や緑地公園などが暗いので時間を決めて明るくしたほうが良いと思う。
- 街路灯が蛍光管が多いが水銀灯に変更出来ないか。
- 外燈が少ないので増やして欲しい。

#### 【その他】

- 高木の伐採を希望。草木ももちろんです。民家の

高木など道路に伸びていますので。

- ・ 曾谷小学校は私にとっても母校です。たまに小学校近くを通る事があり、校舎のベランダに、あのマクドナルドの・ハンバーガーの大段幕がありました。公立の学校に企業の幕が掛けてあると云う事は、どういう事か？！PTA も、それを許していると云う事か？！私立と差が付くのは、気持ちから差が付いている。
- ・ 住宅が増え自然環境がこわされて行く、市川らしい豊かさが情情的にも生活面でも失われて行く。
- ・ 近所に再犯の恐れがあり、危険人物が住んでいて、小学校も近くて不安を感じる。
- ・ 市川市の街づくりは総合的なみとおしが甘い。地主が相続の為梨畑を処分するとそこにこのような行き止まりの数軒の家ができる。ほとんどの地域がこうして数軒ずつのかたまりで、大きな東西南北の道路がない。猛反省要す！！大手の不動産会社が広範囲を開発した場合は、整然とした街なみ（広い道路、公園、植樹等完備）で美しく、防犯上も安全であるが、1～2枚の畑を中小の不動産会社がぎっしり小さな家をたてて、販売してしまうと、まわりとの調和もなく、新しいうちはまだ良いが、年数がたつと、ゴミゴミごちゃごちゃした感はぬぐえない。市の都市計画課は長期のビジョンを持って、ゆきどまりの道はつくらせないとか、極端にせまい戸建は規制したりしないと、美しい街、安全な街はなかなか実現しないのではないか！若い内ならともかく、結局、もう少し余裕のある家へと人々は転居してゆくから腰をすえての永住とならないから。

### 3. おわりに

本報告書では、アンケート調査のデータを小学生以下の子どもがいる世帯（保護者）といない世帯（地域）に分けて集計を行った。その結果、保護者と地域で似たような傾向だけでなく、違いも見られた。特に子どもの安全・安心に関する事項については差がみられた。

小学生以下の子どもの有無で分けた分析だけでなく、加入自治会や世代差による分析が必要な項目もあるが、その報告は必要に応じて今後行って行く予定である。

本調査で得られた結果に対する評価は本報告書では述べていない。この結果をどのようにとらえ、どう現況を改善するべく具体的行動につなげるのかは、地域の実情や活動者の思いに合わせて行うほうが望ましいからである。本報告書が曾谷小学校周辺地域にとって、よりよい防犯まちづくりへ向けた参考資料として活用されれば幸いである。

#### （謝辞）

本調査は（独）科学技術振興機構（JST）の平成 21 年度社会技術開発プロジェクト研究として行ったものです。また、本アンケート調査には、曾谷第 2・4・5・6 自治会、曾谷小学校、曾谷小学校 1・3・5 年生の保護者の皆様、曾谷地域にお住まいの皆様にご協力を賜りました。ここに記して、感謝の意を表します。ありがとうございました。